



新年 明けまして



おめでとうございます

歳を重ねるほどに一年間が早く感じ、本当に！あっ！！という間に新年を迎えています。一日を大切に過ごし 健康に気をつけてがんばります。



今年もどうぞよろしくお願いいたします。



去年は、各地で寒さや雪の被害が大きかったですね。まだまだ寒さは続きますが犬ちゃんや猫ちゃんは寒さをどのように感じているのでしょうか？

原産が犬は**東アジア高地** 猫は**中東の砂漠地帯**

犬と猫 どちらが寒さに強いかというと犬の方が強いと思われます。

いろいろ比べてみましょう



寒さに強い	寒さに弱い	理 由
太っている	痩せている	皮下脂肪が多いと 断熱材的な働きがあるため
筋肉がついている	筋肉がついてない	運動によって生ずる筋肉の熱放射が起こるため
換毛する	換毛しない	ハスキー 柴など二重毛の品種 体毛が密にあると外気の遮断が大
体が大きい	体が小さい	体温を保ちやすい 冷めにくい

犬の快適環境温度 22℃～23℃

老犬 病中の犬 24℃～27℃



猫の快適環境温度 20℃～25℃

老猫 病中の猫 23℃～28℃

※湿度は犬猫とも50～60%

温度は同じでも湿度を上げるだけで体感温度が上昇する。

50%以上だと室内のウィルスは激減する。

暖めるばかりでなく 湿度の調節も大きな鍵のようです。

寒さ対策

寝床

体温を逃さない工夫囲いを設置したり 毛布などを置く 室内では窓側を避ける

ブラッシング

毛並みを整えて保温効果を上げる 新陳代謝を高める

食事

皮下脂肪が寒さをしのぐたすけになる食事量を少し増やして体力を作る

日光浴

室内なら日中の暖かい時間はなるべく日光を当てる 外飼いの場合は
日の当たる場所に移動できるようにリードの調整をしておく



ご協力のお願い

新年を迎えるに当たり 皆様により心地よく病院をご利用いただくために
アンケートを実施したいと思っています。

ご意見ご希望などありましたら何なりとご記入して回収箱へお願いいたします。

担当 西元